

運用報告書(全体版)

第2期

(決算日：2016年12月15日)

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型/内外/資産複合
信託期間	無期限(設定日:平成26年12月11日(木))
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	上場投資信託証券(ETF)及び投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	投資対象ファンドへの投資を通じて、世界各国の株式、債券、貸付債権(バンクローン)、ヘッジファンド、コモディティ、不動産投資信託証券(リート)等、さまざまな資産への分散投資を行うことで収益の獲得を目指します。 スマートベータ指数 [※] に連動するETFや、国内及び海外の中小型株式へ投資を行うことにより、追加的な収益の獲得を追求します。 [※] スマートベータ指数とは、時価総額に応じて銘柄を組入れる従来型の株価指数ではなく、財務指標(売上高、営業キャッシュフロー、配当金など)や株価の変動率など銘柄の特定の要素に基づいて構成された指数のことをいいます。 運用期間中に亘り上記のすべての資産に投資するとは限りません。 投資対象ファンドは、定性、定量評価等により適宜見直す場合があります。したがって、当初組入れていた投資対象ファンドでも、運用期間中に投資対象から外したり、新たな投資対象ファンドを選定し投資対象とする場合があります。 モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社からの助言により運用されます。
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	年1回決算時(毎年12月15日。休業日の場合は翌営業日とします。)に配分方針に基づき分配を行います。繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等と売買益等(評価益を含みます)から、収益配分方針に基づいて分配します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

SBIグローバル・ラップファンド(安定型) 愛称:My-ラップ(安定型)

追加型投信/内外/資産複合

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SBIグローバル・ラップファンド(安定型)愛称:My-ラップ(安定型)」は、2016年12月15日に第2期決算を行いました。

ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9:00~17:00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。

<http://www.sbiam.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金		
(設定日) 2014年12月11日	円 10,000	円 —	% —	百万円 1,735
1期(2015年12月15日)	9,826	0	△ 1.7	98.7
2期(2016年12月15日)	9,918	0	0.9	98.8

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注3) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

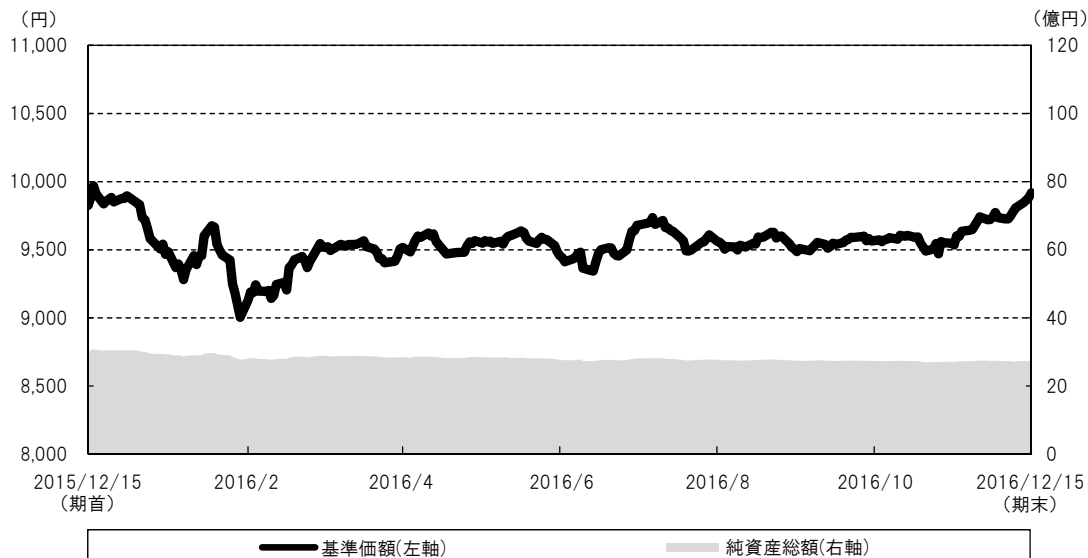
年月日	基準価額		投資信託 証券 組入比率
		騰落率	
(期首) 2015年12月15日	円 9,826	% —	% 98.7
12月末	9,895	0.7	98.0
2016年1月末	9,603	△ 2.3	98.3
2月末	9,260	△ 5.8	99.2
3月末	9,565	△ 2.7	97.8
4月末	9,561	△ 2.7	99.7
5月末	9,638	△ 1.9	100.1
6月末	9,472	△ 3.6	98.4
7月末	9,633	△ 2.0	99.0
8月末	9,594	△ 2.4	99.6
9月末	9,538	△ 2.9	98.1
10月末	9,590	△ 2.4	99.1
11月末	9,739	△ 0.9	99.3
(期末) 2016年12月15日	9,918	0.9	98.8

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2015年12月16日から2016年12月15日まで）

○基準価額等の推移



期 首： 9,826 円
期 末： 9,918 円（既払分配金(税込み)：0 円）
騰 落 率： 0.9%（分配金再投資ベース）

(注1) 当ファンドでは、ベンチマークを採用しておりません。また、適当な参考指数もないため当ファンドのみ表記しております。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

米大統領選に勝利したトランプ氏の政策やインフレ率の上昇期待により国内外の株式が上昇したほか、ドル高の進行による海外債券等の上昇が、主な上昇要因となりました。

下落要因

新興国からの資金流出懸念により新興国株式が下落したほか、ユーロ安の進行により先進国債券（除く米国）が下落したこと等が、主な下落要因となりました。

○投資環境

【株式型資産】

(日本)

期首から2016年10月にかけては、中国株式市場の急落や原油相場の下落、英国の欧州連合（EU）離脱決定などによる海外株式市場の下落や為替相場の円高進行などを背景に、概ね下落基調となりました。11月以降は米国株式市場の上昇や為替の円安進行、原油相場の反発などの要因により上昇基調となり、通期では上昇しました。

(先進国)

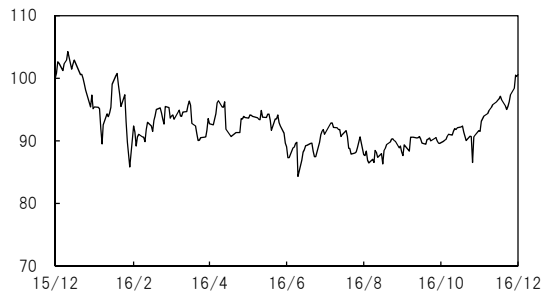
期首から2016年10月にかけては、中国株式市場の急落や原油相場の下落、英国のEU離脱決定などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まり、概ね軟調な展開となりました。11月以降は米大統領選に勝利したトランプ氏の政策やインフレ率の上昇期待、原油相場の反発などの要因により上昇基調となり、通期では上昇しました。

(新興国)

期首から2016年2月にかけては、国際商品市況の下落により、主に商品輸出や一次産品への依存度が高い国が大幅下落し、軟調に推移しました。その後、原油相場の回復に加えて、米利上げ観測の後退等の要因により、新興国市場からの資金流出懸念が和らぎ、反発基調となりましたが、11月以降は、米大統領選に勝利したトランプ氏の政策への警戒感から、新興国市場からの資金流出懸念が高まり、再び下落基調となりました。通期では大幅下落となりました。

＜組入投資信託証券の推移：株式＞

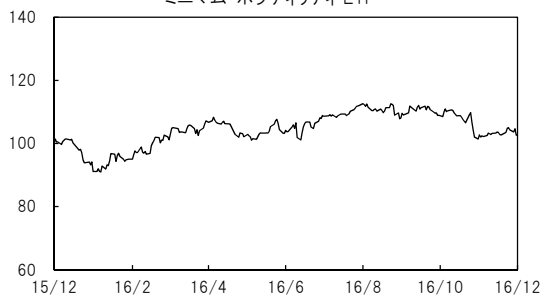
iシェアーズ MSCI
日本株最小分散 ETF



ピムコ・RAE 低ボラティリティ
外国株式ファンド ヘッジあり
(適格機関投資家専用)



iシェアーズ
MSCI・エマージング・マーケット・
ミニマム・ボラティリティ ETF



出所：Thomson.Reuters のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

(注1) 期首を100として指数化しています。

(注2) ピムコ・RAE 低ボラティリティ外国株式ファンド ヘッジあり (適格機関投資家専用) は設定日を100として指数化しています。

【債券型資産】

(日本)

期首から2016年7月にかけては、日銀のマイナス金利導入や国債購入、原油安などを背景としたインフレ率の低下観測から、国内債券利回りは低下（価格は上昇）基調となりました。2016年8月以降は、日銀による金融緩和の総括的検証への思惑や長短金利操作付き質的・量的緩和の導入、欧米の金利上昇などにより、国内債券利回りは上昇（価格は下落）基調となりました。通期の利回りは小幅な低下（価格は小幅上昇）となりました。

(先進国)

期首以降、欧州中央銀行（ECB）の量的緩和や米国の利上げ観測の後退、英国のEU離脱決定などを背景に、債券利回りは低下（価格は上昇）基調で推移しました。2016年8月以降は、投資家のリスク回避姿勢の後退などにより、債券利回りは上昇（価格は下落）基調に転じました。11月以降は、米大統領選に勝利したトランプ氏の政策やインフレ率の上昇期待、原油相場の反発などの要因により、債券利回りは急騰（価格は急落）し、通期では債券利回りは上昇（価格は下落）しました。

(新興国)

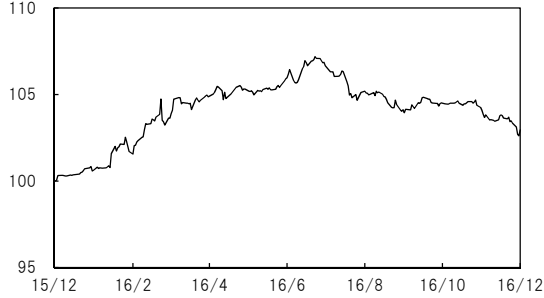
新興国の債券利回りは、国別では強弱まちまちの値動きとなりましたが、期首から2016年半ばにかけては、ECBの量的緩和や米国の利上げ観測の後退による世界的な金利低下を背景に、イールド（利回り）を求める内外投資家からの資金流入により、債券利回りが低下（価格は上昇）しました。その後は、原油価格の反発とともに、新興国債券が買われる局面もみられましたが、11月以降は、米大統領選に勝利したトランプ氏の政策への警戒感から、新興国市場からの資金流出懸念が高まり、債券利回りが上昇（価格は下落）しました。

(ヘッジファンド)

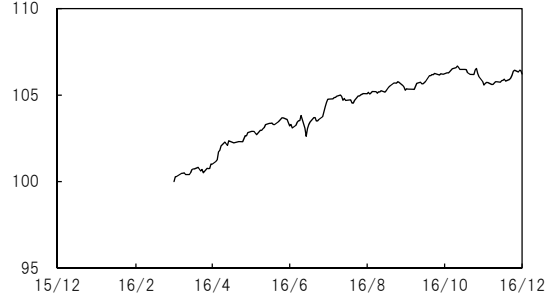
期首以降、米欧の金利低迷や原油相場の反発などを背景にハイイールド債などが買われたことから、堅調なパフォーマンスとなりました。通期ではプラスの収益率を確保しました。

＜組入投資信託証券の推移：債券＞

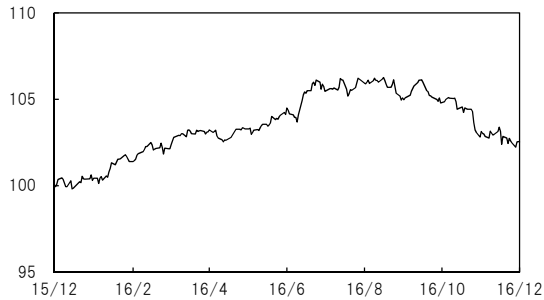
MUAM 日本債券
インデックスファンド
(適格機関投資家限定)



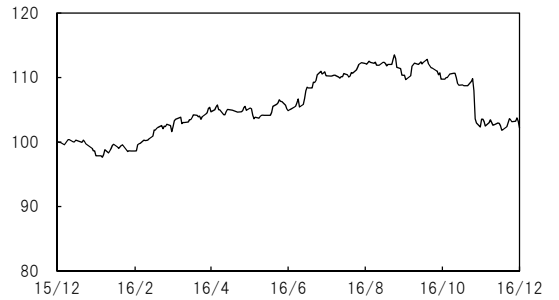
ビムコ・バミューダ・
インカムファンドA
クラスX(JPY)



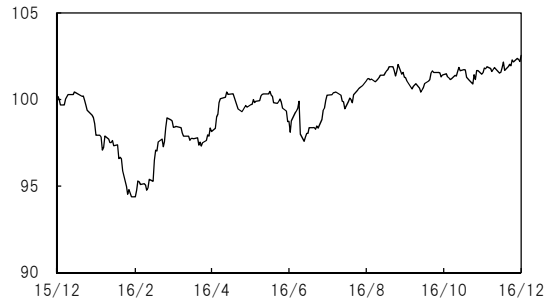
バンガード・トータル・
インターナショナル債券ETF
(米ドルヘッジあり)



パワーシェアーズ・
エマージング・マーケット・
ソブリン・デット・ポートフォリオ



ニューバーガー・バーマン・グローバル・
ボンド・アブソリュート・リターン・ファンド
(円建て円ヘッジクラス・外国投資証券)



出所：Thomson.Reuters のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

(注1) 期首を 100 として指数化しています。

(注2) ビムコ・バミューダ・インカムファンドA クラス X (JPY) は設定日を 100 として指数化しています。

【為替】

ドル／円は、中国株式市場の急落を発端とした世界同時株安や日銀のマイナス金利導入、原油相場の急落などを背景にドル売り・円買いが進み、2016年4月には110円割れの展開となりました。5月以降も日銀の追加緩和への期待感剥落や英国のEU離脱決定を受けてリスク回避の円買いが優勢となり、6月には一時99円台まで円高が進行しました。その後は、日銀による追加緩和期待に加えて、金融緩和の総括的検証への思惑や長短金利操作付き質的・量的緩和の導入、米国の利上げ観測の後退などにより、100円を挟んで一進一退の展開となりました。11月以降は、米大統領選に勝利したトランプ氏の政策への警戒感から、一時円高が進行したものの、日米金利差拡大や原油相場の反発などの要因により、ドル高が進行し、期末にかけて117円台まで円安が進みました。通期では若干の円高・ドル安となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言による基本配分比率に基づき、国内及び海外のETF（上場投資信託）及び投資信託証券への投資を行いました。

2016年3月より、投資助言会社であるモーニングスター・アセット・マネジメントと連携の上、株式型資産合計、債券型資産合計の資産配分は維持しながらも、株式型資産の「米国大型株式」「欧州大型株式」を「先進国（除く日本）大型株式」に、債券型資産の「米国債券」を「グローバル債券」に統合・変更し、それぞれ基本投資比率を引き上げました。

一方、「ヘッジファンド」に関しては、金利上昇局面に備えた債券代替の資産クラスとして組入れたものの、世界的に金利低下基調が継続していることから、基本投資比率を引き下げました。なお、「グローバルリート」に関しては、パフォーマンスや分散効果を検証した結果、資産クラスから除外しました。

また、一部の資産クラス・投資対象ファンドに関しては、価格変動を最小化する最小分散型のETFやモーニングスター・レーティングで高評価を得ているETF等への入れ替えを決定しました。

【当期末の組入投資信託証券の状況】

投資対象		投資信託証券の名称	通貨	組入比率		当期の騰落率
株式型 資産	日本大型株式	iシェアーズ MSCI 日本株最小分散 ETF	円	31.1%	11.4%	0.6%
	先進国(除く日本)大型株式	ピムコ・RAE 低ボラティリティ外国株式ファンド ヘッジあり (適格機関投資家専用)	円		18.1%	7.3%
	新興国大型株式	iシェアーズ MSCI・エマージング・マーケット・ミニム・ボラティリティ ETF	米ドル		1.6%	2.6%
債券型 資産	日本債券	MUAM 日本債券インデックスファンド (適格機関投資家限定)	円	67.7%	12.1%	3.0%
	グローバル債券	ピムコ・バミューダ・インカムファンドA クラスX (JPY)	円		19.1%	6.2%
	先進国(除く米国)債券	バンガード・トータル・インターナショナル債券 ETF (米ドルヘッジあり)	米ドル		17.6%	2.5%
	新興国債券	パワージェアーズ・エマージング・マーケット・ソブリン・デットポートフォリオ	米ドル		4.1%	2.2%
	ヘッジファンドヘッジあり	ニューバーク・バーマン・グローバル・ボンド・アグリゲート・リターン・ファンド (適格機関投資家専用)	円		14.9%	2.5%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する比率です。

(注2) ピムコ・RAE 低ボラティリティ外国株式ファンド ヘッジあり (適格機関投資家専用)、ピムコ・バミューダ・インカムファンドA クラスX (JPY) の騰落率はファンド設定日からのものです。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を特定しておりません。

○分配金

当期は、当ファンドの収益分配方針に基づき、収益分配可能額を算出し、市況動向や基準価額等を考慮した結果、当期の収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配に充てなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第 2 期
	2015年12月16日～ 2016年12月15日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	60

(注1) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税込み)と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

国内外のETF(上場投資信託)及び投資信託証券への投資を通じて、株式型資産(株式、リート等)への基本配分を30%、債券型資産(債券、ヘッジファンド等)への基本配分を70%とし、国際分散投資を行います。金利上昇局面に弱い債券型資産のパフォーマンスを補完するために、債券代替の資産クラスとしてヘッジファンドをポートフォリオに組入れることにより、信託財産の安定的な収益獲得を目指します。また、ヘッジファンド等の一部の資産クラスに関しては、為替ヘッジを行います。

引き続き、モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言や金融市場の動向等を勘案し、投資対象ファンドの入れ替えや基本配分比率の変更を定期的に行っていく予定です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015 年 12 月 16 日～2016 年 12 月 15 日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	129 (54) (73) (3)	1.350 (0.567) (0.756) (0.027)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	8 (8)	0.087 (0.087)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
(c) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.001 (0.001)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷) (そ の 他)	5 (1) (1) (3) (0)	0.049 (0.008) (0.011) (0.029) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	142	1.487	
期中の平均基準価額は9,590円です。			

(注 1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注 2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注 3) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたものです。

(注 4) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注 5) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1 万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

○売買及び取引の状況

(2015年12月16日～2016年12月15日)

投資信託証券

銘柄		買付額		売付額	
		口数	金額	口数	金額
国内		口	千円	口	千円
	ISHARES MSCI JPN MIN	203,087	325,622	21,533	33,773
	NB グローバルボンド AR ファンド JPY I	4,477	4,398	213,061	207,447
	PIMCO Bermuda Income Fund A X	58,375	584,097	9,084	95,004
	MUAM 日本債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	1,445,494	1,806	95,098,058	118,102
	MAXIS JPX - NIKKEI INDEX 400	—	—	23,370	294,398
	ピムコ・RAE 低ボラティリティ外国株式Fヘッジ有(適格専用)	523,145,239	524,632	61,247,909	63,539
外国		口	千米ドル	口	千米ドル
	アメリカ				
	GUGGENHEIM S&P 500 EQUAL WEI	—	—	34,088	2,632
	ISHARES DEV MARK PROP YIELD	—	—	27,568	669
	VANGUARD INTERMEDIATE-TERM B	82	6	44,805	3,792
	WISDOMTREE EMERGING MARKETS HIGH DIVIDEN	554	17	13,788	467
	POWERSHARES EM MKT SOVR DEBT	5,512	163	12,469	350
	FIRST TRUST EUROPE	—	—	44,415	1,258
	POWERSHARES INT CORP BOND	2,899	73	148,704	3,793
ISHARES EDGE MSCI MIN VOL EMERGING MARKE	10,738	529	3,322	167	
VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	86,381	4,675	10,909	593	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2015年12月16日～2016年12月15日)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年12月15日現在)

(1) 国内投資信託証券

ファンド名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	口	千円	%
ISHARES MSCI JPN MIN	181,554	312,272	11.4
NB グローバルボンド AR ファンド JPY I	406,808	408,244	14.9
PIMCO Bermuda Income Fund A X	49,291	523,619	19.1
MUAM 日本債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	268,883,461	330,780	12.1
ビムコ・RAE 低ボラティリティ外国株式Fヘッジ有(適格専用)	461,897,330	495,846	18.1
合 計	731,418,444	2,070,764	75.5

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 単位未満は切捨て。

(2) 外国投資信託証券

ファンド名	当 期 末			比 率
	口 数	評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	千米ドル	千円	%
POWERSHARES EM MKT SOVR DEBT	34,242	963	113,431	4.1
ISHARES EDGE MSCI MIN VOL EMERGING MARKE	7,416	369	43,510	1.6
VANGUARD TOTAL INTL BOND ETF	75,472	4,092	481,721	17.6
合 計	117,130	5,425	638,663	23.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注2) 単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2016年12月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,709,428	97.6
投 資 信 託 財 産 総 額	65,381	2.4
	2,774,809	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(639,330千円)の投資信託財産総額(2,774,809千円)に対する比率は23.0%です。

(注3) 外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1米ドル=117.72円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況(2016年12月15日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	2,774,809,821	
コール・ローン等	65,381,624	
投資信託受益証券(評価額)	2,709,428,197	
(B) 負債	32,599,187	
未払解約金	13,577,144	
未払信託報酬	18,565,566	
未払利息	177	
その他未払費用	456,300	
(C) 純資産総額(A - B)	2,742,210,634	
元本	2,764,986,698	
次期繰越損益金	△ 22,776,064	
(D) 受益権総口数	2,764,986,698口	
1万口当たり基準価額(C/D)	9,918円	

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>
(貸借対照表関係)

期首元本額	3,088,501,139円
期中追加設定元本額	218,570,336円
期中一部解約元本額	542,084,777円

○損益の状況(2015年12月16日～2016年12月15日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	25,149,687	
受取配当金	23,862,583	
受取利息	△ 1,014	
その他収益金	1,314,213	
支払利息	△ 26,095	
(B) 有価証券売買損益	45,001,703	
売買益	163,642,075	
売買損	△ 118,640,372	
(C) 信託報酬等	△ 39,384,079	
(D) 当期損益金(A + B + C)	30,767,311	
(E) 前期繰越損益金	△ 54,126,165	
(F) 追加信託差損益金	582,790	
(配当等相当額)	(5,710,209)	
(売買損益相当額)	(△ 5,127,419)	
(G) 計(D + E + F)	△ 22,776,064	
(H) 収益分配金	0	
次期繰越損益金(G + H)	△ 22,776,064	
追加信託差損益金	582,790	
(配当等相当額)	(5,710,209)	
(売買損益相当額)	(△ 5,127,419)	
分配準備積立金	11,030,495	
繰越損益金	△ 34,389,349	

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(11,030,495円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(5,710,209円)より分配対象収益は16,740,704円(10,000口当たり60円)ですが、当期に分配した金額はありません。

<ご参考> 組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
i シェアーズ MSCI 日本株最小分散 ETF	日本大型株式	MSCI 日本株最小分散指数	0.2052%	BlackRock, Inc.

組入上位 10 銘柄	比率
リクルートホールディングス	2.04%
田辺三菱製薬	1.79%
アステラス製薬	1.61%
トヨタ自動車	1.60%
武田薬品	1.56%
大阪瓦斯	1.55%
大塚ホールディングス	1.54%
ユニー・ファミリーマート HD	1.49%
大東建託	1.48%
日本電信電話	1.48%

組入上位業種	比率
医薬品	12.02%
陸運業	10.00%
小売業	8.95%
食料品	8.05%
情報・通信業	7.81%
電気・ガス業	7.15%
銀行業	6.49%
サービス業	6.37%
輸送用機器	4.98%
建設業	4.76%

出所：BlackRock, Inc.のデータを基に SBI アセットマネジメントが作成
(注) 2016 年 9 月 30 日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
ビムコ・RAE 低ボラティリティ外国株式 ファンド ヘッジあり (適格機関投資家専用)	先進国(除く日本) 大型株式	MSCI コクサイ・インデックス (円ヘッジ・ベース)	0.4266%	Pacific Investment Management Company LLC

組入上位 10 銘柄	比率
AT&T INC	4.5%
EXXON MOBIL CORPORATION	4.4%
ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	3.0%
WAL-MART STORES	2.9%
JOHNSON & JOHNSON	2.2%
PROCTER & GAMBLE	2.2%
BANK OF MONTREAL	1.8%
IBM CORP	1.8%
BHP BILLITON LTD	1.7%
NESTLE SA-REG	1.7%

出所：Pacific Investment Management Company LLC のデータを基に SBI アセットマネジメントが作成
(注) 2016 年 11 月 30 日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
iシェアーズ MSCI・エマージング・マーケット・ミニマム・ボラティリティ ETF	新興国大型株式	MSCI・エマージング・マーケット・ミニマム・ボラティリティ・インデックス	0.2500%	BlackRock, Inc.

組入上位 10 銘柄	比率
TENCENT HOLDINGS LTD	1.82%
TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	1.74%
TAIWAN MOBILE LTD	1.47%
CHUNGHWA TELECOM CO.LTD.	1.45%
PUBLIC BANK	1.34%
IHH HEALTHCARE	1.31%
TELEKOMUNIKASI INDONESIA	1.25%
BANCO DECHILE	1.24%
CHINA MOBILE LTD	1.24%
FAR EASTONE TELECOMUNICATIONS LTD	1.22%

組入上位業種	比率
金融	24.08%
情報技術	15.68%
生活必需品	12.84%
電気通信サービス	11.99%
資本財	7.44%
ヘルスケア	7.11%
公共事業	7.02%
一般消費財・サービス	6.29%
エネルギー	2.94%
コンピューターソフトウェア	2.03%
素材	1.52%

出所：BlackRock, Inc.のデータを基に SBI アセットマネジメントが作成
(注) 2016 年 9 月 30 日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
MUAM 日本債券インデックスファンド (適格機関投資家限定)	日本債券	NOMURA-BPI 総合インデックス	0.1512%	三菱 UFJ 国際投信株式会社

種類別組入比率	比率
国債	81.4%
特殊債券 (除く金融債)	7.4%
地方債	5.7%
金融債	0.8%
普通社債	4.3%

組入上位 10 銘柄	比率
第 123 回利付国債 (5 年)	1.2%
第 113 回利付国債 (5 年)	1.2%
第 339 回利付国債 (10 年)	1.1%
第 340 回利付国債 (10 年)	1.1%
第 124 回利付国債 (5 年)	1.0%
第 117 回利付国債 (5 年)	1.0%
第 341 回利付国債 (10 年)	0.9%
第 355 回利付国債 (2 年)	0.9%
第 338 回利付国債 (10 年)	0.9%
第 127 回利付国債 (5 年)	0.9%

出所：三菱 UFJ 国際投信株式会社のデータを基に SBI アセットマネジメント株式会社が作成
(注) 2016 年 5 月 12 日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
ビムコ・バミューダ・インカムファンド A クラスX(JPY)	グローバル債券	ベンチマークはありません	0.6000%	Pacific Investment Management Company LLC

組入上位 10 銘柄	比率
FNMA TBA 3.0% JAN 30YR	2.9%
FHLMC TBA GOLD 3.0% JAN 30YR	2.6%
U S TREASURY NOTE	2.1%
GT 1999-5 A6 SEQ WM28 WC9.427200	1.8%
U S TREASURY NOTE	1.7%
ENERGY FUTURE/EFIH DIP TL	1.5%
U S TREASURY NOTE	1.2%
U S TREASURY INFLATE PROT BD	0.9%
CWL 2006-18 2A3	0.8%
MSHEL 2006-1 M1	0.8%

組入債券種別	比率
米国非政府系モーゲージ証券	25.3%
証券化商品 (除く住宅ローン担保証券)	13.8%
米国政府関連債	12.2%
先進国債券(除く米国)	11.1%
新興国債券 (社債含む)	11.1%
ハイイールド社債	10.9%
米国政府系モーゲージ証券	8.5%
投資適格社債	3.3%
バンクローン	3.2%
その他	0.6%

出所：Pacific Investment Management Company LLC のデータを基に SBI アセットマネジメントが作成

(注) 2016 年 11 月 30 日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF (米ドルヘッジあり)	先進国 (除く米国) 債券	ブルームバーグ・バークレイズ・グローバル総合 (米ドル除く) 浮動調整 RIC 基準インデックス (米ドルヘッジベース)	0.1500%	The Vanguard Group, Inc.

組入債券種別	比率
米国外の債券	82.0%
金融債	5.6%
事業債	5.6%
公共事業債	1.1%
資産担保証券	0.1%
その他	5.6%

出所：The Vanguard Group, Inc. のデータを基に SBI アセットマネジメントが作成

(注) 2016 年 10 月 31 日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
パワーシェアーズ・エマージング・マーケット・ソブリン・デットポートフォリオ	新興国債券	DB エマージング・マーケット USD リキッド・バランسد・インデックス	0.500%	Invesco PowerShares Capital Management LLC

組入上位 10 銘柄	比率
Latvia Government International Bond, 2.750%, 01/12/2020	3.1%
Morocco Government International Bond, 5.500%, 12/11/2042	1.7%
Morocco Government International Bond, 4.250%, 12/11/2022	1.6%
Serbia International Bond, 4.875%, 02/25/2020	1.6%
Korea International Bond, 3.875%, 09/11/2023	1.6%
Serbia International Bond, 7.250%, 09/28/2021	1.5%
Korea International Bond, 4.125%, 06/10/2044	1.5%
Venezuela Government International Bond, 7.750%, 10/13/2019	1.3%
El Salvador Government International Bond, 7.625%, 02/01/2041	1.3%
Brazil Government International Bond, 5.625%, 01/07/2041	1.3%

出所：Invesco PowerShares Capital Management LLC のデータを基に SBI アセットマネジメントが作成
(注) 2016 年 10 月 31 日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
ニューバーガー・バーマン・グローバル・ボンド・アソリュート・リターン・ファンド (円建て円ヘッジクラス・外国投資証券)	ヘッジファンド	ベンチマークはありません	0.500%	Neuberger Berman Investment Funds PLC

組入上位 10 銘柄	比率
NEUBERGER BERMAN INVESTMENT*	5.0%
TREASURY (CPI) NOTE	4.6%
TREASURY NOTE	2.6%
TREASURY (CPI) NOTE	2.3%
BARCLAYS PLC RegS	1.9%
PGH CAPITAL LTD RegS	1.9%
TREASURY (CPI) NOTE	1.8%
TREASURY (CPI) NOTE	1.6%
MEXICO (UNITED MEXICAN STATES)	1.6%
ICE: (CDX.EM.26.V1)	1.5%

出所：Neuberger Berman Investment Funds PLC のデータを基に SBI アセットマネジメントが作成
(注) 2016 年 12 月 31 日時点の比率です。